

考え議論する道徳のための番組活用

北海道札幌市立新琴似北小学校 教諭 安井 政樹

小学校6年 道徳 ココロ部！（オン・マイ・ウェイ！）

番組の特徴

『ココロ部！』は、コント形式のフィクション系番組である。論点が明確であり、道徳的葛藤場面における判断について考え議論する道徳の授業をデザインしやすい番組である。『オン・マイ・ウェイ！』は、ノンフィクションのリアルな物語で子どもの心を揺さぶり、多面的なものの見方を生み出しやすい番組である。

研究の概要

教科化を見据え、番組もリニューアルし高学年の道徳番組は10分化が進んだ。「考え議論する」ための時間が確保しやすくなった。本研究においては、視聴後に課題づくりを行い、その後、小グループにおける協働学習を展開する際に、ワークシートや思考ツールを用いることで思考の見える化をすすめ、議論を深めることをねらった。その結果、道徳の学習に対する有用感が高まった。

授業デザイン（1単位授業時間）

主題名：自由と責任

ねらい：責任感ある自立した行動が自由には必要であることに気付く。

導入	「自由」と「きまり」の道徳的な意味について考えを整理する。
番組視聴	「みんなの自由な公園」
問いをもつ	小グループで感想交流をする中で、自分なりの問いをもつ。
課題設定	学習課題 みんな満足して楽しく安全に過ごせる公園とは？
協働解決	グループごとにワークシートに話し合ったことを見える化する。道徳のキーワードなどを用いながら、思考を整理する。
振り返り	心の階段を学級全体で確認し、自分の現状を見つめ、これからの生き方を考える。



番組や関連動画クリップの活用意図

問いを生み出す番組視聴

道徳的な葛藤場面を視聴することで、本時で考えたいテーマについて学級全体で問いを生み出し、共通の学習課題を設定することをねらった。

議論の土台をつくる番組活用

共通の土台があることで、議論がかみ合うようになる。番組を見ることにより、その映像特性を生かして学力差によらず多くの子どもが状況設定を理解し、議論がより深まると考えた。

思考の可視化にかかわる教師の工夫

ワークシートの活用

物語に浸りきって考えを出せるように、NHK for School 上にある「番組内容と同じ公園の看板型のワークシート」を活用した。

小集団での話し合い活動

課題について、すぐに小集団での話し合いをさせることで、多様な価値観に触れられるようにした。協働学習用のワークシートに書いた文字は基本的に消さず、追記していくことで「考え議論する」ことが残るように工夫した。

心の階段

テーマについて、どう行動することが価値あることなのかを「心の階段」として板書上で見える化することで、振り返りが深まり、これからの生き方を考えられるよう工夫した。

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの自己評価から

- きまりがなくても、人のことを思いやって行動することが大事だと分かった。
- きまりを少なく考えられた班があって、すごいと思った。

評価シートから

実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである。

- 学習を今後の生活に役立てようと思った。
- 自分自身の気持ちに当てはめて考えることができた。

参観者の評価

- 番組を見た後に学習課題を協働的に設定して、全体で考えながら問題解決的な道徳ができていた。番組が10分なので十分に話し合う時間が取れてよかった。

実践を終えて

継続的に番組を見ることで、「考え議論する」ために必要な共通の土台を作るとともに、問いを生み出すこともできるようになってきた。『オン・マイ・ウェイ！』では、「なぜこういう生き方ができるのか」と自分の人間的な弱さとのギャップを問いにできる子も出てきた。子どもの問いを活かし論点を早めに整理することで、議論する時間を確保していくことが大切である。また、議論をしたことを見える化するための適切な思考ツールをさらに検討したい。